

支 部 だ よ り

関 東 支 部

支部長 谷 覺 (昭42)

関東支部では富安一夫支部長(昭34)、樋口宗司幹事長(昭42)の下、本年度の活動方針を定め支部総会に向けて数回の幹事会を行い、準備を進めてきました。関東支部総会は6月16日午後6時から開催されました。先ず富安支部長から開会の挨拶があり、その中で長く関東支部の基盤を作り、支えてこられた堀前支部長(昭17)を紹介され、本年度の物故者に対して黙禱をしました。同窓会からは伊豫屋偉夫会長(昭41)より、同窓会の現状などを紹介して頂きました。続いて現状に合わせた規約改正を行い、予算などの重要事項を審議し、満場一致で承認されました。引き続き懇親会に入り、長崎大学からは学長の齋藤 寛教授、薬学部からは伊藤 潔准教授(昭59)がはるばる来られ挨拶を頂き、関東支部総会を更に有意義なものにすることが出来ました。特に齋藤学長は独立法人化後の大学の直面する様々な問題と共に、大学の発展には教職員、学生、同窓会が一体となることの重要性を強調され、また鎖国時代唯一の貿易港として逸早く西洋文明を取り入れた歴史的背

景、東アジアと交わる地理的条件、過酷な原爆の体験を持つ特色ある大学として、世界に冠たる大学へと先頭に立って邁進する決意をお話しされ、感銘深いものがありました。長崎大学が造ったお酒も披露され、話の輪も大いに盛り上がりました。吉井前支部長(昭23)、昭和30年卒の黒岩前支部長、田中、鋤塚先輩にも参加いただき長崎大学のすばらしい伝統を感じさせてくれました。今回の総会には昨年より若干少ない30余名の参加者を得ましたが、参加率の低い若い会員が参加しやすいような工夫をする必要があるように思います。

総会に先立ち、午後3時から第5回卒業セミナーを開催しました。関東支部では従来から様々な催しを行ってきましたが、数年前からは総会の前に学術シンポジウムを行っています。本年度は「薬をめぐる大きな変化と薬剤師」というテーマで、先ず「医薬品業界に襲いかかる嵐」という演題で(株)メディカルリソース、山浦哲明氏に基調講演をやって頂き、調剤薬局を開局されておられる田辺早百合さん(昭50)に「医療の立場から」、(株)アスピオファーマ、末澤克己さん(昭47)から、これから大幅に変わる処方薬や一般販売薬に関する情報が伝えられました。(卒業セミナープログラム参照)

7月28日(土)には末澤克己さんの紹介で「サント



リー武蔵野ビール工場の見学会」が開催され、数名の参加を得て工場見学と試飲を楽しみました。また10月21日(日)には多田和子さん(昭48)のお世話により日赤医療センターで「アロマとハーブの会」が開催され、会員以外の参加もあり、女性会員を中心に十数名の参加がありました。11月にはゴルフの会も開催する予定です。

関東支部は地域も広く、会員も多い支部ですが、関東圏にお住まいの会員相互のネットワークの中心として、様々な活動に取り組んでいくつもりです。総会後は関東支部長として谷 覺が引き継ぐことになりましたが、皆様のご支援を賜りたく御願ひ申し上げます。

第5回卒後セミナー「薬をめぐる大きな変化と薬剤師」

総合司会 渡辺クリ子(昭48)

開会の挨拶

長崎大学薬学部同窓会関東支部長 富安 一夫(昭34)

基調講演

「医薬品業界に襲いかかる嵐」

座長：城西大学教授 谷 覺(昭42)

講師：株式会社メディカルリソース

事業開発部 部長 山浦 哲明先生

シンポジウム

「薬をめぐる大きな変化と薬剤師」

コーディネーター 中尾 哲朗(昭35)

梶村 博(昭50)

医療の立場から

調剤薬局勤務 田辺早百合先生(昭50)

製薬企業の立場から

アスピオファーマ株式会社 末澤 克己先生(昭47)

閉会の辞

長崎大学薬学部同窓会関東支部副支部長

渡邊三二四(昭35)

第3回アロマセラピーとハーブ研究会

講演1：「医療にも取り入れたいリンパドレナージュ」

講師：竹内恵美先生(フランシラ日本校長,元スーパーモデル,「アクアデトックスで何時までもきれい」著者,フィンランド国家の「FWBC」高齢者介護事業にも参加)

講演2：「アロマ・ハーブと薬の相互作用」

講師：林 真一郎先生(薬剤師,グリーンフラスコ代表)

講演3：「心を癒すアロマⅢ」

講師：長谷川記子先生(薬剤師,「癌をいやすアロマセラピー」著者)

■日 時：平成19年10月21日(日) 13時30分～16時30分

■場 所：日本赤十字社医療センター

近畿支部

支部長 白石 哲也(昭32)

本年度の長薬同窓会近畿支部総会は6月9日、ホテルグランヴィア大阪(20階,名庭)において開催されました。長薬同窓会会長、伊豫屋偉夫氏を迎え、昭和24年卒から平成8年卒までの支部会員50名が参加し、盛大に行うことが出来ました。本年も引き続き近畿支部12号を発行することになりました。

長薬同窓会総会・懇親会が支部総会に引き続き行われました。近畿支部が8年ぶりにお世話することとなりました。北は関東支部から南は沖縄支

部まで、16支部から申込が120名、当日には117名の方が出席されました。皆様が同窓生に声をかけて下さったお蔭です。誠に有難うございました。

総会の始まる前から久し振り(数十年ぶり)に会った同級生、先輩、後輩の方との輪があちこちにできていました。微笑ましい情景でした。懇親会は伊豫屋会長、畑山学部長の挨拶で始まりましたが、司会者が出る幕がないほど、各所で話が盛り上がり、笑い声がおこり、時が経つのを忘れるほどでした。交歓が和やかなうちにも盛大に行われましたことを感謝しております。

改めて、薬学部での学生生活が数十年後にこのような強い絆となって現れてくることを知ることができました。同窓会がこれまで以上に薬学部の発展に寄与できればと強く感じました。



2007年6月9日 於 ホテルグランヴィア大阪

山陰支部

支部長 橋本 覚 (昭52)

一般に、10月のことを神無月と呼びますが、出雲地方では神有月(カミアリツキ)です。全国の神様が出雲の大社(オオヤシロ)にお集まりになるからです。地方で神様がいなくなるのに出雲には沢山の神様がいらっしゃるから、…これは神話の世界です。現実に住んでいる私たちには町ごとで様々なイベントがあります。HPで紹介していますが平田で神楽が開催されたのは先日の日曜日のことでした。

長薬同窓会山陰支部会に、伊藤 潔准教授(昭59)をお迎えし開催することができました。同窓会本部や関係者のご理解の賜物と感謝しております。あたかも、萬の神々を伴って来島してくださったようで、青春時代を再び思い起こし満喫できた嬉しさでいっぱいでした。

平成19年10月13日(土)、松江市のニューアーバンホテルで開催しました内容をご紹介します。

そこは旧市街地にある温泉地、中心に松江城、そして掘割が街を縫うように走り、脇には小泉八雲が住んでいた武家屋敷もあるところです。堀には乗り合いの遊覧船があり、九州柳川のように川下りが楽しめます。ホテルの前には宍道湖が西に

広がりを、そして中海へと続く大橋川を渡れば直ぐそこに嫁ヶ島が湖に浮かんでいます。秋の日、ここから見る夕日が格別で、銀色の湖面を赤く染めて、…それは、それは、ロマンチックな情景なんです。是非、先生に観ていただきたいかったです。私も撮影したかったのですが、生憎の曇り空、残念で堪りません。

当日は、仕事の関係でゆっくり始めようとの幹事様の配慮で19時30分にスタートしました。宴会場にはその前から待ち焦がれて集まった人たちがビールを飲んでホロ酔い気分、早めに来場された伊藤先生が山陰の雰囲気馴染まれるには十分な時間です。乾杯するころには皆テンションレベル最高、口のスロトル全開状態。伊藤先生からご挨拶をいただきましたが、世界的研究の話がされます。ノーベル賞候補に挙がるような内容とかで、GFP(緑色蛍光タンパク質)の話。とても渋い声が響き渡り、大学で授業を受けているような錯覚に。それにしても母校の先輩、後輩のご活躍を耳にして胸が熱くなりました。同窓会本部のHPのほとんどは先生が作成更新されているとのこと、唯一HPがある山陰支部も、もっと充実した内容にと頑張らなければ…。先生、心温まるご挨拶でした。

前回(平成17年、平田市で開催)は記念撮影を酔った勢いのためか、忘れてしまう大チョンボを犯してしまいましたが、「今回は抜かりなく。」と幹事様から戒められます。九州訛が抜けない先輩

が飛行機で初めて山陰に降り立った情景（北風に雪が舞う冬）を面白可笑しく話されるのを今回聞けませんでした。毎回、楽しみにしてたのに…。後日、お会いしたところ、当日は疲れが溜まっていたとのこと。お身体に気をつけてください。もう若くはないんですから、お互いに。野球部出身者が多かったためか、伊藤先生も野球部だったからか、野球の話で盛り上がります。そして教え子たちの消息も。

やがて、宴も酣になったころ校歌を斉唱することに。今回は正調の節で歌いました。（♪…重し、♪…重し、の部分です。）前回も気になりましたが、平成卒の先生たちは校歌をご存じないのです。何とか、今の学生たちからでも在学中に覚える機会があったなら…、支部会などで世代を超えて共通認識を確かめられるのは校歌では？

ところで、宴会の中、伊藤先生から「総会を是非、山陰で開催を！」と提案をお聞きしたところです。もしも、お受けすることになったら支部の方々のご協力が欠かせません。で、次回（来年）の総会に参加して状況把握してからでも、との結論に。それから、近隣の支部会にも出てみたらと。来年は長崎の総会と、岡山支部会に参加させても

らおうかと考えています。その節は、宜しくお願ひします。

ということで、二次会へ向かうことになりました。大橋川を渡り新市街地へ、橋のたもとに幹事さん行きつけの音楽喫茶がありました。ここではギター片手にフォークソングの披露となります。郡山先生と伊藤先生の歌声が流れ、70年代の世界へ一気に逆戻りです。とても楽しい、楽しい一時でした。

最後に、頑張ってくださった幹事様、遠路はるばる来島いただきました伊藤先生、ありがとうございました。支部を代表してお礼申し上げます。詳しくは山陰支部のホームページをご覧ください。

(URL：<http://www2.ocn.ne.jp/~kaku4/>)

出席者：

間瀬田千香暁 (昭47)	板倉 明美 (昭53)
板倉 忠則 (昭49)	伊藤潔准教授 (昭59)
山田 貞子 (昭50)	郡山 信宏 (昭61)
橋本 悦子 (昭51)	小笹 歩 (平10)
橋本 覚 (昭52)	深田 匡秀 (平11)
山田 千恵 (昭52)	坪倉 淳子 (平11)



山口支部

支部長 若松 輝明 (昭45)

昨年、10月に伊豫屋同窓会長をお招きして「山口抜天会」を開催し、あっという間に1年が経過しました。

大先輩の河野信助先生の後を受け、会長に就任

福岡支部浦陵会

会長 青木 郁 (昭38)

平成19年9月9日(日) 14:00から福岡市天神西日本会館16階福岡国際ホールで総会・懇親会を開催いたしましたので報告いたします。総会・研修会出席人数50名(懇親会40名)特別講演を戴きましたニノ坂先生並びに長薬同窓会伊豫屋会長(昭41)、長大薬学部中嶋幹郎教授(昭57)にご出席いただき盛会裏に終了することが出来ました。

今年7月30日「第3回、病院における薬剤師の業務及び人員配置に関する検討会」議事録が公表され、その中で、あるべき業務に関し、大きく3項目(医療・薬物治療の安全確保と質の向上のための業務、医療の安全確保のための情報に関する業務、その他取り組むべき業務)に分類し、それぞれの項目について検討されています。薬剤師にプロとして求められる事柄は多岐にわたり、しかも重要な事項が含まれています。この報告書の「お

しました若松輝明(昭45)ですが、毎年開催することは大変だろうとの皆様のご意見に甘んじ、今年は開催しませんでした。ちょうど山口県薬剤師会の会長と重なり、忙しい毎日を送っておりますが、来年はぜひ開催しなければと思っております。どうか山口県にお住まいの皆様、特に若い卒業生の皆様、来年の秋を目標に計画を立てたいと思っていますので、ぜひご参加ください。

わりに」の文言は、「チーム医療への参画や定期的な服薬管理等の業務を通じて、患者から薬剤師の業務が理解され、患者の信頼の下に「顔の見える薬剤師」と呼ばれるよう努力を求める」で結ばれています。そこで今年度の福岡浦陵会総会並びに研修会は、「顔の見える薬剤師」の達成に日夜努力されている会員各位を激励する企画といたしました。

その1として、薬学教育6年制が平成18年にスタートし、1年が経過しました。薬学部にも臨床薬剤師養成センターが設置され、センター長の中嶋幹郎教授に大学の状況とこれからの薬学教育についてお話をお願いいたしました。大学薬学部の環境並びに学問の場としての整備は格段の改善がなされているものの、まだまだ今後の教育の目標、指導等の具体性が未定の部分が多いようで、十分なお話が聞けなかったのは残念です。

その2として、特別講演に長崎大学医学部昭和52年のご卒業であり、医師として福岡で在宅医療(特に在宅での終末期医療)に多くのご経験を持たれ、ご活躍されているニノ坂先生に「在宅ホスピ



スのすすめ～薬剤師も町へ出ていこう～」のテーマで、医師から見た薬剤師並びに地域での薬剤師としての役割についてご講演を戴きました。これからの医療は在宅での医療の方向であり、やはりチーム医療の一員として薬剤師が現場に出、患者と向き合うことの重要性を具体的な体験談を交えてご講演戴きました。特に、在宅での終末期医療における「緩和ケア」での薬剤師の関与と役割等、会員各位の今後の活躍に大変参考になったことと考えます。

当浦陵会は昨年度から学年連絡員の活用、企画

員の協力による総会・研修会の企画運営を行っています。平成19年度の企画・運営については、昭和59年卒の上村、金子、藤沢の諸氏にお手伝いいただき無事に終了することが出来ました。ここに報告しお礼と致します。平成20年度は昭和40年、50年、60年、平成7年、17年卒の福岡在住の方々から何人かの方をお願いいたします。ご協力のほどをお願いいたします。

末筆ながら、同窓会の皆様のますますのご発展、ご健康を祈念申し上げ報告と致します。

大 分 支 部

支部長 野尻 敏博 (昭48)

長薬同窓会大支部では総会及び懇親会を、平成19年1月27日(土)大分市の大分リーガルホテルで、来賓に本部から伊豫屋会長をお迎えし20名の参加で開催しました。ちなみに大支部の会員数は151名となっています。

阿部敏幸(昭50) 幹事から庶務報告、会計報告が行われ了承されました。続いて、西川恭夫(昭26)先生の乾杯のご発声で懇親会が始まりました。来賓として長崎からお招きした伊豫屋偉夫同窓会長にご挨拶を頂き、母校の近況や、下村 脩先生(昭26)が2006年度の朝日賞を受賞されたというご報告があり、卒業生の一員として大変誇らしく思いました。また、2月18日から始まる長崎ランタンフェスティバルのご案内等を伺い、大変懐かしく感じられました。

さて、ここで私の自己紹介をさせてもらいますと、昭和49年に大分に帰ってきて、大分県立病院に奉職したわけですが、職場に先輩の故今井春二(昭23)先生が居られ「おまえ同窓会の世話をしろ」の一言で、以来ずっとこの大支部のお世話をさせてもらって来ました。昨年の支部総会で藤井幹久(院昭44)前支部長の後を受け支部長を引き受けることになりました。若輩者ですがこれからも大支部の伝統を引き継ぎながらも発展に努めたいと思っています。

懇親会では、会が盛り上がったところで参加者全員が自己紹介を兼ねてそれぞれの近況、今興味を持って取り組んでいることや困っていることなどをユーモアを交えて報告されました。特に最近卒業した若い方の話は元気があって頼もしく思いました。

最後に、若松正人君(平1)の巻頭言のあと全員で校歌を斉唱し、来年の再会を約して散会しました。若松君の巻頭言はなかなか堂々としていて、会の終りは巻頭言で締めるという大支部の伝統が受け継がれ安堵しています。

巻 頭 言

流星 落ちて 住むところ
檳榔の 実の 熟るる里
憧れの クビロヶ丘に 集いにし
三歳の夢 短かしと
或いは宴の庭に
或るいは星月夜の 窓のもとに
若き 高鳴る 感情の メロディーもて
思いのままに 歌い給え
歌は 悲しき時の母ともなり
楽しき時の友ともなれば
いざや 歌わんかな 我等が歌

アイン ツヴァイ ドライ!!

参加者氏名

西川 恭夫(昭26) 平 季久(昭37)
藤井 幹久(院昭44) 野尻 敏博(昭48)

石橋 真 (昭49)	阿部 敏幸 (昭50)	久松 貞義 (昭60)	若松 正人 (平1)
上ノ段 茂 (昭50)	浜田美智子 (昭50)	久壽米木洋子 (平4)	永野 俊玲 (平5)
井上美津枝 (昭51)	金丸 哲宏 (昭53)	浜野 峰子 (平8)	陸丸 幹男 (院平15)
都留 君佳 (昭55)	中西 健二 (昭56)	矢野真利子 (平15)	太田 千春 (平16)



2007年1月27日 於 大分リーガルホテル

熊本支部

幹事 **松尾富士男** (昭59)

平成19年度の熊本支部例会は、9月1日(土)に熊本市内の「中国名菜 儷郷(れいきょう)」で開催いたしました。中華料理に定番の回転テーブルのある和室で、合計15名の参加者(写真)にお集まりいただきました。今年は参加者に大きな変化がありました。女性参加者の大幅増です。私を知る限り、女性の参加は毎年良くて数名で、紅一点という年もありましたが、今年は、女性の参加者が半数(8/15)を超え、異例のうれしい記録となりました。

さて、当日は同窓会副会長の薬学部臨床薬学講座 中嶋幹郎教授(昭57)にご来熊いただきました。中嶋先生には、4年前の薬学部改築リニューアルを多数の写真を使ってご説明いただきました。外フレームダブルスキン工法による建物の耐震補強、エントランスホール、リフレッシュルーム、講義室などの内装の大幅な変化、最新機器の導入

など、環境面の新しい薬学部がよくわかりました。また、制度面の変化としては、昨年度(平成18年度)から新6年制・4年制がスタートし、1年生を対象とした保険薬局や病院での早期体験学習の実施、将来実施予定の薬学共用試験のトライアル実施など、教育環境が徐々に変化し始めたこと等のご紹介をいただきました。長薬同窓会のニュースとして、大先輩の下村脩先生が朝日賞を受賞されたこと、地域薬剤師卒後教育研修センターが設立されたこと、昨年の台風13号による被害のご説明がありました。中嶋先生ありがとうございました。

また、参加者に家庭や職場の近況紹介をいただきました。開局されて落ち着かれた方、薬局に職場復帰して奮闘されている方、子どもの成長の話など、笑いを交えながら、皆さん流暢にお話しいただきました。女性の参加者は、子育てを終えられた方、子育て中の方、妊娠中の方が近況紹介され、幅広い層の皆さんが参加されたことがとても印象的でした。宴が進むにつれ、皆さん膝を突き合わせ、薬局の情報交換や昔話などに花が咲き、楽しいひと時を過ごされたことと思います。こうしてあっという間に2時間が過ぎ去りました。

山本喜一郎支部長の下で熊本支部例会のご案内事務をさせていただき、早いもので8年が経過致しました。熊本支部は他の支部に比べ小規模ですが、お年を召された方から若い方まで幅広い同窓生が参加しやすい独自の雰囲気を持っていると思います。来年以降も、この楽しい懇親の場が続き、盛会になることを祈念いたします。最後に今年ご出席の皆様を以下にご紹介させていただきます。

岩下 淑子 (昭52) 平野 玲子 (昭52)
 杉山 幸美 (昭53) 山本喜一郎 (院昭55)
 秦野 正敏 (昭56) 木山 容子 (昭57)
 中嶋 幹郎 (昭57) 木山 雄一 (昭59)
 松尾富士男 (昭59) 久松 貞義 (昭60)
 矢田 道代 (昭60) 児島 正樹 (院昭62)
 天方 奉子 (平5) 上仲 小玲 (平6)
 上村 裕子 (平6)



2007年9月1日 於 中国名菜「儂郷」

諫早支部

支部長 平山 文俊 (昭41)

諫早支部は平成2年に総会を開催して以降、休眠状態にありましたが、本年7月22日久しぶりに支部総会を開催しました。

諫早支部は保健所再編成、市町村合併の影響を受けエリアが変化し、現在は諫早市と大村市、吾妻町、愛野町に居住する人が会員で、その数は諫早市103名(含特別会員2名)、大村市45名、雲仙市2名の計150名となっています。

当日は、伊豫屋同窓会長、伊藤 潔准教授が来賓として出席され、総勢18名で会を開催しました。校歌斉唱、赤司支部長のご挨拶、伊豫屋会長のご挨拶の後、今後の支部のあり方について論議し、

規約、会費等は今後の推移をみて考えることとなりました。また赤司支部長はご高齢のため引退したいということで、次期支部長に平山が推薦されました。今回の支部総会開催を言い出した手前もあり、任期は長くしないということで私が支部長を引き受けました。

その後、伊藤 潔准教授から「大学の現況について」講演をいただき、組織の改革、准教授と助教授の違い等についてお話いただきました。

懇親会の席で、会員の広がり、構成を考えて、県央支部と名称を変更し、大村市から副支部長を出し、開催場所は交互にした方が大村の会員の意識も高まり、ひいては出席者も増えるとの意見がありましたので、次回の課題にしたいと思います。

来年に向けて、支部総会の出席者を増やすことが最大の課題であります。今回出席された方は発起人のつもりで来年の支部総会に、もう一人ず



平成19年7月22日 於 グランドパレス

つ連れて来られるようお願いし、総会を終了しました。

来賓者

長薬同窓会長 伊豫屋偉夫 (昭41)

長崎大学薬学部准教授 伊藤 潔 (昭56)

出席会員

山口 憲治 (昭19) 高橋 安人 (昭20)

赤司 一武 (昭22)	森田 勉 (昭30)
熊本 公子 (昭33)	坂本 滋子 (昭34)
開 泰二 (昭39)	小松 芳文 (昭41)
早崎 義信 (昭41)	平山 文俊 (昭41)
宮本 真秀 (昭41)	馬場 強三 (昭44)
岩永 直子 (昭46)	川口 房子 (昭46)
田中 秀二 (昭46)	宮崎 信子 (昭46)

長崎支部ぐびろ会

会長 山中 國暉 (昭43)

9月1日(土)午後6時から長崎市茂里町のウェルシティ長崎(長崎厚生年金会館)にて平成19年度ぐびろ会総会・懇親会が開催されました。

和泉玲子氏(昭56)の司会で開会し、物故会員4名への黙禱で始まりました。議長に井石政之氏(平4)を選出し議事に移行しました。

議事

- (1) 平成18年度 事業報告
- (2) 平成18年度 決算監査報告
会計 濱田哲也氏(昭54)

監査 田原 務氏(昭51)

- (3) 平成19年度ぐびろ会役員紹介
- (4) 平成19年度事業計画

イ) 長崎大学薬学部の長薬同窓会会員が教授の研究室に研究費として20万円を寄贈(今年度は中島憲一郎教授及び中嶋幹郎教授の研究室)

ロ) 原爆慰霊碑の清掃

平成19年8月5日実施

ハ) 下村 脩博士(昭26)の講演会の支援
平成19年10月20日(土) 中部講堂

- (5) 平成19年度予算

以上が執行部の提案どおり議決されました。

総会終了後、椛島 力准教授(平4)、中島憲一郎教授(昭46)により薬学部の現況についての報

告がございました。参加者一同大学の変わり様に興味を持って聴いていました。

その後懇親会(司会 最上 元氏(平11))に移り、牟田邦彦先生(昭17)の乾杯の音頭にて宴が始まりました。また翌日は本会副会長の猪平民雄氏(昭47)の奥様雅子様(昭47)の誕生日とのこ

とで全員でハッピーバースディを合唱し、中村博葉会長(昭45)の出席もあり、和気藹々のうちに楽しいひと時を過ごしました。最後は濱田光洋氏(昭12)の万歳にて午後8時に散会致しました。

平成19年度長薬同窓会長崎支部ぐびろ会役員及び平成19年度長薬同窓会長崎支部ぐびろ会総会・懇親会出席者は次のとおりです。

平成19年度長薬同窓会長崎支部ぐびろ会役員

顧問	高木 康(昭35)
顧問	伊豫屋偉夫(昭41)
会長	山中 國暉(昭43)
副会長	猪平 民雄(昭47)
副会長	中嶋 幹郎(昭57)
理事	馬場 満輝(昭49)
理事	田原 務(昭51)
理事	濱崎 和久(昭54)
理事	濱田 哲也(昭54)
理事	和泉 玲子(昭56)
理事	神山 朝光(昭63)
理事	井石 政之(平4)
理事	森本 仁(平5)
理事	岩永 真理(平6)
理事	石井 純(平7)
理事	最上 元(平11)
理事	水野 和美(平11)
理事	坂田 真人(平15)
理事	細井 雄仁(平19)

平成19年度長薬同窓会長崎支部ぐびろ会総会の出席者

牟田 邦彦(昭17)	馬場 優子(昭54)
吉海 公輔(昭23)	濱崎 和久(昭54)
山口 哲郎(昭28)	濱田 哲也(昭54)
吉田 一美(昭28)	和泉 玲子(昭56)
後藤 達元(昭32)	辻脇 優子(昭56)
西脇金一郎(昭33)	伊藤 潔(昭59)
木下 敏夫(昭35)	中村 忠博(昭59)
高木 康(昭35)	神山 朝光(昭63)
伊豫屋偉夫(昭41)	福留 誠(昭63)
山中 國暉(昭43)	植木 陽子(平1)
高橋 正彦(昭44)	秋吉 隆治(平3)
中村 博(昭45)	井石 政之(平4)
中島憲一郎(昭46)	椛島 力(平4)
大西 裕子(昭46)	森本 仁(平5)
猪平 民雄(昭47)	岩永 真理(平6)
猪平 雅子(昭47)	金村 隆則(平6)
大川 和子(昭47)	濱田 典子(平6)
中嶋 誠一(昭49)	南 義人(平7)
馬場 満輝(昭49)	岸川 直哉(平10)
小笠原正良(昭51)	水野 和美(平11)
原田 均(昭51)	最上 元(平11)
田原 務(昭51)	濱田 光洋(平12)